

2023年の富津市の主なできごとについて

令和5年1月から同年12月までの1年間における富津市の主なできごとをまとめました。

その内容は別紙のとおりです。

担当

総務部秘書広報課

電話 0439-80-1200

2023年の富津市の主なできごと

No	月	項 目 / 内 容
1	2・5	<p>《旧環南小学校及び旧天羽東中学校の利活用事業者が決定》</p> <p>旧環南小学校は信栄開発株式会社及び株式会社マメノキを、旧天羽東中学校は株式会社JELLY FISHを利活用事業者に決定し、それぞれ富津市と利活用を円滑に実施するため基本協定と、指定緊急避難場所及び指定一般避難所として使用するための災害協定を締結。</p>
2	4	<p>《富津市立図書館のオープン》</p> <p>待望の市立図書館がイオンモール富津内にオープン。本を読む・借りるために図書館に行くという従来のスタイルに加え、幅広い世代の方が気軽に立ち寄れ、日常の生活圏に溶け込むスタイルの図書館を実現。9月に来館者10万人達成。また、図書館のオープンに先立って、1月から電子書籍の検索・貸出・閲覧・返却・予約ができる電子図書館サービスを開始。</p>
3	6	<p>《市道下飯野線の暫定供用開始》</p> <p>道路改良工事を進めている市道下飯野線について、一部暫定供用を開始。県道君津大貫線（通称本郷バイパス）の整備状況により全線開通する予定。2月には県道大貫青堀線（通称山王バイパス）も開通しており、円滑な交通の確保が進んでいる。</p>
4	7	<p>《申請や届出のオンライン化》</p> <p>子育てや介護に関する26の申請や届出について、マイナポータルを通じてのオンライン手続きが可能に。市民の皆さんの利便性の向上や職員の業務の効率化を図る事業や業務のデジタル化を進めている。</p>
5	7	<p>《サーモントラウト陸上養殖商業プラントの建設》</p> <p>株式会社FRDジャパンによるサーモントラウト陸上養殖商業プラントの建設が決定。2026年に操業開始、2027年に初出荷を予定。年間3,500トン規模のサーモントラウトを生産・販売することを目標としている。</p>
6	7	<p>《房総地域東京湾口道路建設促進協議会総会開催》</p> <p>房総地域東京湾口道路の早期建設を促進し、地域の活性化を図ることを目的に、国等への要望活動や建設促進に向けた活動を実施してきた「房総地域東京湾口道路建設促進協議会」の総会を9年ぶりに開催。</p>

2023年の富津市の主なできごと

No	月	項 目 / 内 容
7	8	<p>《富津市中学生海外派遣交流事業》</p> <p>市内中学生4名が、アメリカ合衆国カリフォルニア州カールスバッド市を訪問。現地の高等学校での学習プログラム体験やホームステイでの海外生活を体験。また、6月にはカールスバッド市から高校生5人が来訪し、市内観光や児童・生徒と交流している。</p>
8	10	<p>《市立竹岡保育所が千葉県自然環境保育認証制度の認証決定》</p> <p>市立竹岡保育所について、子どもの豊かな人間性や心身の調和の取れた発達の基礎を育むため、自然環境や地域資源と関わる自然体験活動を実施している施設を認証する千葉県自然環境保育認証制度の認証が決定。</p>
9		<p>～街の賑わい戻る・各地で催しや祭礼開催～</p> <p>●コロナ禍で中止や縮小を余儀なくされていた催しや祭礼、新しいイベントなどが各地で開催。</p> <p>第8回富津市民花火大会（7月）、第46回富津ふるさとまつり（8月）、富津シーサイドマルシェ（9月）などが開催され、各実行委員が工夫を凝らし想いのこもった催しに、市内外から多くの人々が来場した。また、各地域の祭礼も執り行われ、子供から大人までが交流し、伝統文化の継承の場として賑わった。</p>

2023年の富津市の主なできごと

No	月	項 目 / 内 容
10		<p>～子育て支援の充実～</p> <p>●第3子以降学校給食費無償化事業開始（1月） 多子世帯の経済的負担を軽減するため、第3子以降の児童、生徒の保護者に対し、令和5年1月から3月分までの給食費に対して補助金を支給。また、4月以降要件を緩和し、市内在住で、市内小中学校に在学する第3子以降の学校給食費の無償化を実施。</p> <p>●第3子以降放課後児童クラブ保育料補助を開始（4月） 多子世帯への新たな支援として、第3子以降の放課後児童クラブに係る保育料補助を開始</p> <p>●中学3年生の学校給食費の無償化（4月） 重要な進路決定を控える中学3年生の保護者の経済的負担を軽減するため、市内在住で、市内中学校に在学する中学3年生の学校給食費を無償化。</p> <p>●子ども医療費助成の対象を高校生相当までに拡大（10月） 子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、子ども医療費助成の対象を中学生から高校生相当までに拡大。</p> <p>●中学3年生及び高校3年生相当インフルエンザ予防接種費を助成（10月） 受験・就職試験等の重要な進路決定を控える中学3年生及び高校3年生相当に対し、予防接種の奨励を図り、個人の発病又は重症化を予防し、併せてそのまん延の防止を推進するため、助成金を交付。</p> <p>●市立保育所における保護者による使用済み紙おむつの持ち帰りを廃止（11月） 使用済み紙おむつの持ち帰りに係る保護者及び保育士の負担を軽減するとともに、衛生面に配慮するため、市立保育所における保護者による使用済み紙おむつの持ち帰りを廃止。</p> <p>●市立保育所における紙おむつのサブスクリプションサービスを開始（11月） 使用済み紙おむつの持ち帰り廃止と併せ、保護者及び保育士の更なる負担軽減を図るため、市立保育所における紙おむつのサブスクリプションサービスを開始。</p>